

対策のポイント

- 文化芸術振興ビジョンの基本理念である「文化芸術の力で心豊かに暮らせる高知県」をめざして、文化芸術活動への支援や発表の機会の拡充など文化芸術に触れる機会の充実に取り組んでいく。
- 文化芸術のさらなる振興を図るために、文化芸術や学術研究等で活躍されている文化人など多様な人材と本県人材との交流を図り、新たな文化の創造など将来にわたるレガシーとつなげる。

文化芸術に触れる機会の充実

46,748千円

【発表の場の充実】

- ・県立文化施設や各種イベント等において、団体・個人の発表の場を創出することで、多くの県民が文化芸術に触れる機会を充実。
- ・高知県芸術祭の充実を図るために、地域での文化芸術活動（事業）を支援する Kochi Art Projects（14事業）を実施。

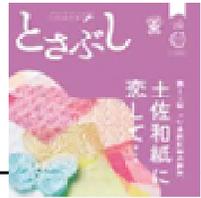


【多様な文化交流の創出】

- 新**・「ハーバード大学クロコディロス」（男声合唱団）公演を開催し、文化芸術に触れる機会を創出する。
- 新**・エンジン01文化戦略会議との共催により、文化芸術や学術研究等で活躍されている文化人など多様な人材と本県人材との交流を図り、新たな文化の創造と将来にわたるレガシーへとつなげる。

【文化広報誌の発行】

- ・高知の文化、魅力を再発見し、県内外へ広く発信することで、交流人口の拡大につなげる。



人材の育成〔文化人材育成プログラム〕

6,462千円

【アートビジネス講座】

地域に多様な職を創出し、さらには地域の文化の確実な継承を図るために、本県の文化芸術を素材としたビジネスプランを策定するための講座を実施。

【アートクリエイション講座】

アドバイザーのネットワークを生かした外部講師を招へいし、映画制作を通じて創造力や表現力を習得し、文化芸術面における創造的な人材の育成を図る。

【アートマネジメント講座】

文化芸術団体と、福祉・教育・地域などのさまざまな分野とが連携し、持続的な地域振興につなげるための講座を実施。



【文化芸術振興ビジョン評価委員会】

304千円

ビジョンの進捗状況やビジョン・行動計画について、外部有識者による評価を行いP D C Aサイクルを回す。

地域歴史文化施設支援等の取組の推進

新 地域歴史文化施設支援等事業 22,661千円

【対策のポイント】

- 「志国高知 幕末維新博」を契機として、県内の文化施設で展示環境の充実や資料調査の進展が図られるなど、県全体において、歴史文化の底上げにつながってきた。
- 今後においても、**県内の文化施設活動の充実や地域での資料の保存、継承、活用の促進、歴史観光の一層の推進**につなげるために、**専門的知識を備えた支援体制**により、**県内文化施設の歴史資料の調査・研究をさらに進める支援や地域の文化施設活動等に関わる人材の育成**に取り組む。

【事業概要】

- 歴史的知見を有する学芸員等による支援体制を高知城歴史博物館に整備**
(委託先：(公財)土佐山内記念財団)

【取組内容】

- 県内文化施設が所蔵する歴史資料の調査・研究の支援**
 - ・各施設において歴史資料の整理や解説、来歴等の調査を支援（年2施設程度）
 - 資料仕分け・分類、資料情報登録、目録原稿作成などを行い、資料目録発刊及びデータ公開へつなげる
 - 資料の解説、楷書文書化、解説の作成などを行い資料集発刊へつなげる
- 地域の文化施設活動等に関わる人材の育成**
 - ・「地域学芸員（仮称）」養成講座の開催（年4カ所程度）
- 県内文化施設の連携強化**
 - ・「こうちミュージアムネットワーク」を活用した共同事業の推進

<成果>

- 歴史資料の調査・研究の進展による文化施設の展示等の充実
- 文化施設活動への参画者の増加
- 文化施設の共同事業の充実



- ◇文化施設活動の充実
- ◇地域での資料の保存、継承、活用の促進
- ◇歴史観光の推進

県史編さんに向けた取組

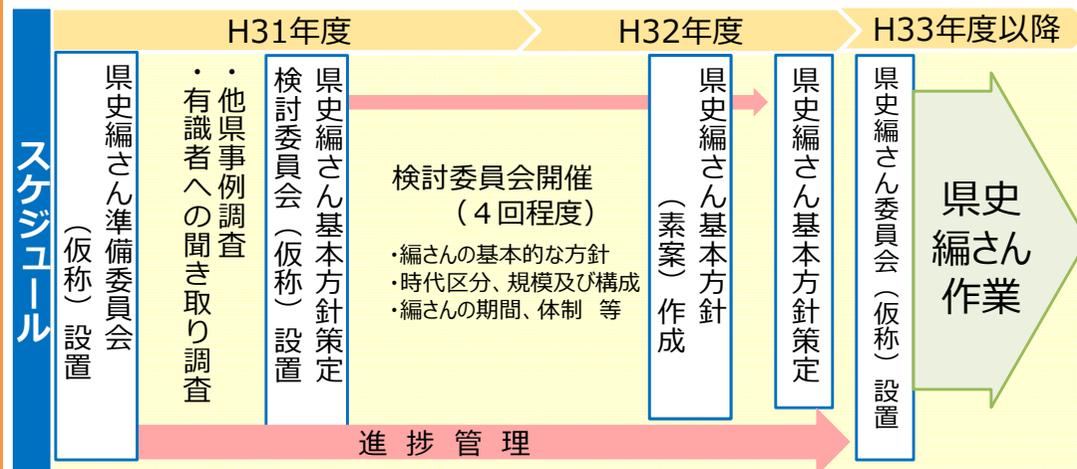
新 県史編さん事業 2,945千円

【対策のポイント】

- 県史編さんについては、**前回の編さんから約40年が経過し、本県の歩みを後世にしっかりと伝え残すためにも、平成の時代も踏まえた新たな県史編さん作業が必要**となってきた。
- 全国的な視点や近年の学術、研究等の成果、前回編さん時以降の現代史の記録等を踏まえた**新たな県史を編さんする過程を通じて、本県の歴史や文化等の調査研究の一層の推進**を図る。

【事業概要】

- 県制150年にあたる記念すべき年である平成33年度から本格的に県史編さん事業に着手するために、新元号元年の平成31年度に**県史編さん準備委員会（仮称）**を立ち上げ、**有識者への聞き取りや他県調査等を行い、県史編さんに向けた検討体制を決定**。
- 県史編さん基本方針策定検討委員会（仮称）**を設置し、**編さんにあたっての基本的な方針や編さん期間等の検討**を行い、平成32年度中に「**県史編さん基本方針**」を策定する。



【前回の高知県史編さん概要】

- <事業期間> ・昭和38年度～昭和52年度（約14年間）
- <総事業費> ・75,644千円 <発刊内容> ・通史編5巻、資料編5巻 計10巻

目的

各競技団体ごとに課題を捉えた効果的な強化を徹底するとともに、国民体育大会入賞や日本代表選手の輩出が特に期待される「全高知チーム」のさらなる強化、スポーツ医学面からの質の高いサポートを行い、本県の競技力を着実に引き上げる。

現状

- 各競技団体において、トップ選手をさらに引き上げる体制が十分でなく、より質の高い指導が必要。
- 国民体育大会において、安定して上位をねらうことができる力が足りない競技団体が多く、入賞を収める競技団体が固定化されている。
- スポーツ医学面から選手や指導者をサポートする体制が十分でなく、競技団体がスポーツ医学を十分に活用できていない。

取り組み

競技団体の実情に応じた効果的な強化

■基礎強化

国体正式競技（40競技）における基本的な強化

①重点強化

①特別強化コーチ派遣（全高知チーム）

国民体育大会入賞や日本代表選手の輩出が特に期待される競技に対して、「全高知チーム」による重点強化

②ジュニア強化

特にジュニア層の普及・育成が必要な競技団体が行う強化

③女子選手強化

特に女子選手のレベルアップが必要な競技団体が行う強化

④高校生強化

特に高校生のレベルアップが必要な競技団体が行う強化

⑤アドバイザー招聘

高度な技術・戦術・トレーニング方法の指導に加え、組織マネジメントなど、総合的な指導助言を行う

⑥特別強化選手支援

優秀な競技成績を収めている選手を特別強化選手に指定し、さらなるレベルアップを図る取り組みを支援

②全高知チームによる重点強化

【全高知チーム】

競技ごとに、県内の小学生から一般までの有望選手を強化選手に指定し、年間を通して定期的に質の高い強化練習を行うチーム

■全高知チームの拡充

既存の全高知チーム（10競技）

- ①ソフトボール ②レスリング ③剣道
- ④カヌー ⑤サッカー ⑥ラグビー
- ⑦水泳(飛込) ⑧陸上 ⑨卓球 ⑩柔道

13競技に拡充

■特別強化コーチによる指導・監修の徹底

・強化練習 ・強化計画の定期的な見直し

■県外遠征等の質の高い練習の増加

国民体育大会までの段階的な目標を達成するため、県外遠征等の質の高い練習を増加

■県内指導者の資質向上

全高知チームの活動を通じた県内指導者の実践研修の充実

スポーツ医学の活用

③新 高知県スポーツ科学センター（SSC）によるスポーツ医学面からのサポート

SSCスタッフや競技別サポートチームが各種サポートを実施

【サポート内容】

- ①メディカルチェック
医療機関による内科系・整形外科系の医科学検査
- ②専門体力測定
専門機器を活用した瞬発系や持久力系などの測定
- ③トレーニング指導
専門体力測定等の結果によるトレーニング指導
- ④栄養指導
体づくりや体調管理のための栄養素の摂り方等の指導・助言
- ⑤メンタルトレーニング
専門指導者によるメンタルコントロールサポート
- ⑥動作分析
選手の基本技術の動作等を映像で分析・指導
- ⑦ゲーム分析
ゲーム中の動きをデータ化・映像化して分析・指導

選手強化におけるPDCAの徹底

④計画的な強化の実施

- 国民体育大会に向けた段階的な目標の明確化
- 目標達成に向けた対策の着実な実行
- 段階的な目標達成状況に応じた計画の見直し
- 各競技団体内での強化計画の共有

スポーツ施設・設備の整備

⑤計画的な整備の実施

- 競技拠点施設等の整備
- 新たなスポーツ施設整備の検討
- スポーツ推進交付金の活用

目的

○地域の実情やスポーツに関するニーズを踏まえたスポーツ機会の拡充に向けて、地域スポーツハブの拡充や広域エリアの連携による取り組みの促進、特別支援学校等と連携した障害者スポーツを着実に進めるため、地域のスポーツ推進の核となる拠点やネットワークづくりを行う。

現状

○成人の週1回以上のスポーツ実施率は4割程度にとどまっている。
○性別や年代などによる様々な課題や地域住民の多様なニーズがあるが、それらに応じた対応が十分にとられていない。
○障害のある方が、身近な地域で気軽にスポーツ活動を行うための環境が整っていない。
○地域のスポーツ環境や活動を充実させるためには、単一の団体や組織の取り組みだけでは限界があり、地域の実情に応じて多様な関係者が連携する体制の構築が必要。

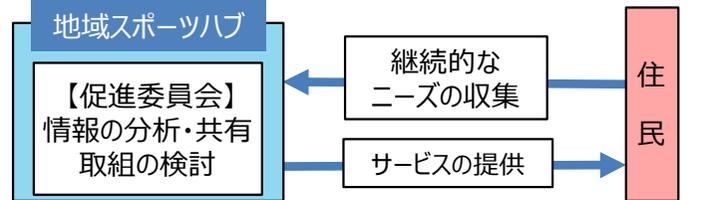
1. 市町村単位のスポーツ機会の拡充 (地域スポーツハブの拡充)

2. 市町村の枠を越えて広域で行う スポーツ機会の拡充

3. 特別支援学校等と連携とした 障害者スポーツの推進

地域スポーツハブ

■概要
各市町村における地域住民の多様なニーズ等に対応するため、総合型地域スポーツクラブ等が核となり、多分野の関係者が連携してスポーツサービスを提供する。
※地域の多分野の関係者で構成する「促進委員会」を立ち上げ、スポーツに関するニーズ等を継続的に把握・分析し、スポーツサービスを提供。



広域エリア事業 (補助事業)

■概要
指導者や運動施設不足など多様なスポーツ課題を抱える中山間地域や、市町村が単独で解決できない課題の解決のため、市町村の枠を超えて広域で行う取組や複数の市町村が連携して行う取組に対して補助する。

■内容
①広域的なニーズに応じたスポーツ機会の提供
②地域の自治体が連携して行うスポーツ活動

■補助事業者 高知県体育協会
■実施主体
①高知県体育協会 ②エリアネットワーク協議会

障害者スポーツ推進プロジェクト (スポーツ庁委託事業)

■概要
特別支援学校やスポーツ団体等と連携して障害者スポーツ情報の効果的な収集・発信・共有体制を構築するとともに、特別支援学校を中心に多様な関係者が連携して、誰もが参加できるスポーツ機会を提供する。

■内容
(1) 特別支援学校を通じたスポーツ情報の収集・発信
(2) 特別支援学校と連携したスポーツ機会の提供

■連携団体
・県障害者スポーツ指導者協議会
・総合型地域スポーツクラブ
・県スポーツ推進委員連絡協議会 等

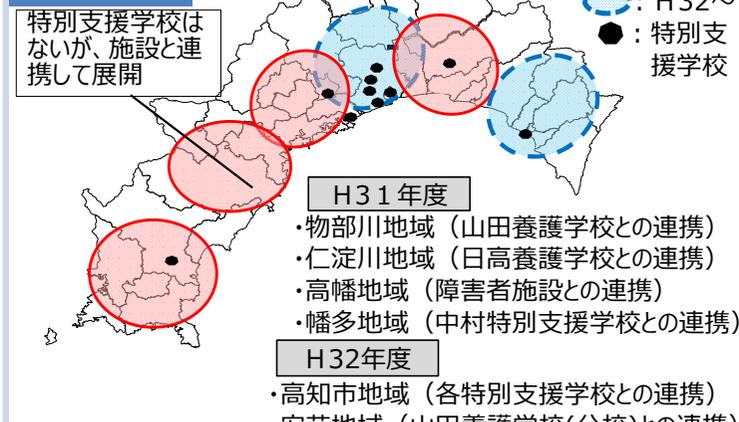
取組の展開



取組の展開



取組の展開



趣旨・目的

- 「第2期高知県スポーツ推進計画」の3つの柱①「スポーツ参加の拡大」、②「競技力の向上」、③「スポーツを通じた活力ある県づくり」、また、それに横断的に関わる施策である「オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興」を推進するためには、活動の基盤となる施設等の充実が必要
- 「高知県スポーツ推進交付金」の要件等を改正し、事業計画を承認・スポーツ推進計画等に位置づけるなど、地域の取組を後押しできるよう、制度を拡充
- 競技力の向上、スポーツツーリズムの推進はもちろん、多くの人々がスポーツを「始める」きっかけづくりができるよう、市町村の取組を支援

概要

◆ **交付先**：市町村

◆ **交付金の対象**：次の要件に全て該当する施設の整備費（実施設計費、設備、備品購入費を含む）

- ① 高知県スポーツ推進計画及び高知県産業振興推進計画地域アクションプランに位置づけられているもの
- ② 競技力の向上を主たる目的とするもの
- ③ プロスポーツやアマチュアスポーツのキャンプや大会・合宿誘致、さらにはスポーツを楽しむ人の誘客など、スポーツツーリズムの推進につながるもの



◆ **交付率**：過疎債、辺地債（これらが充当できない場合は地域活性化債）等を充当し、算出される交付税措置額を除いた市町村実質負担額の1/2以内

◆ **対象事業**：600,000千円を上限とする

◆ **交付期間**：交付対象となる事業の完了年度の翌年度に交付



交付金イメージ図



市町村負担分の1/2(15%)以内を県が支援

H31年度交付先

- 須崎市
須崎市海洋スポーツパーク構想整備事業
【27,814千円】



須崎市浦ノ内湾を本県の海洋スポーツの拠点の一つとして、海洋スポーツ大会の充実やスポーツ体験活動の拡充、2020年東京オリパラの事前合宿の受入が可能となる整備を行い、**本県のスポーツツーリズムの推進とスポーツの振興**を図る。

H31年度

- ① 新艇庫・トレーニング室整備
- ② 艇庫(既存)管理研修棟整備
- ③ カヌーコース整備

- 新 土佐町
カヌーのまち嶺北整備事業
【1,143千円】



国内屈指のフィールドであるさめうら湖周辺の環境整備を行うことにより、競技力の向上をはじめ、様々なスポーツイベントの開催や自然体験アクティビティの提供を行い、嶺北地域における『交流人口の拡大』及び『地域経済の活性化』を目指す。

H31年度

- ① カヌーコース整備
- ② 伴走艇購入

目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーWC2019の開催を好機と捉え、参加国の事前合宿等の招致を通じた**スポーツの振興を図るとともに、将来を担う子どもたちが夢や希望を抱いてスポーツに取り組み、県民の誰もがスポーツに親しめる環境づくりや、地域の活性化につなげる**取組を行う。

現状

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、チェコ共和国・シンガポールと事前合宿実施に向けた協議を進めるための覚書を締結（H30年4月）。
また、ラグビーWC2019大会では、トンガ王国が事前合宿の実施を表明。

今後の取り組みの方向性

- ①協定書締結国の事前合宿受入に向けた施設等の整備や機運づくり
- ②レガシー構築に向けたホストタウン登録国との交流事業

事前合宿の招致

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会・ラグビーWC2019大会の参加国の事前合宿等の招致活動を通じ、**県民のスポーツに対する意識（する・みる・ささえる）を高めるとともにスポーツ振興を図る。**

（事前合宿を通じた具体的な効果）

- 世界トップレベルのスポーツを見る機会の創出による**競技力向上**（教育効果）や**スポーツ参加人口の拡大**
- スポーツによる健康志向や生きがいづくりによる**日本一の健康長寿県構想への寄与**
- 施設価値の増加による**施設利用の拡大**（合宿受入件数の増加や会員の増加 など）
- メディア等で取り上げられることでの**本県の認知度アップ**
- 合宿の見学や取材など県外からの来県者が生む**経済効果**



シンガポール 高知市・南国市

・チームシンガポール（バドミントン・卓球・水泳・フェンシング・パラ水泳・ボクシング）の合宿招致 **拡**



⇒指導者の資質向上・競技力向上

・国立スポーツ学校とのスポーツ交流



⇒スポーツでの異文化理解の促進・競技力向上

・スポーツシンガポールとの連携

⇒競技者のサポート体制の充実（スポーツ医学・トレーニング環境の情報交換）

キルギス共和国

・キルギス代表チーム合宿の招致 **新**

⇒指導者の資質向上・競技力向上

チェコ共和国 須崎市

・チェコ代表チーム（カヌー・陸上競技・水泳）の合宿招致 **拡**



⇒指導者の資質向上・競技力向上

・チェコJrチーム（カヌー・ソフトボール）とのスポーツ交流



⇒スポーツでの異文化理解の促進・競技力の向上

・自然環境を生かした合宿地の情報発信

⇒スポーツツーリズムの推進

・オリンピックオフィシャルスポンサー等と連携した広報活動 等

⇒大会を契機としたスポーツ機運の醸成・異文化理解の促進、受入体制充実

トンガ王国 高知市

・トンガ王国ラグビーユニオンの事前合宿受入

・トンガ王国出身選手によるラグビースクールの開催

⇒競技力向上・競技人口の拡大

・トンガ王国応援プロジェクトの実施

⇒大会を契機としたスポーツ機運の醸成・スポーツを通じた異文化理解の促進



全日本代表

・日本代表チーム（女子ソフトボール）の合宿招致

⇒指導者の資質向上、競技力向上等

⇒大会を契機としたスポーツ機運の醸成

オーストラリア 須崎市

・国際交流大会の誘致

⇒スポーツを通じた異文化理解の促進・競技力向上

オランダ 宿毛市

・トップアスリートの県内自転車イベントへの参加

⇒スポーツツーリズムの推進・競技人口の拡大

ハンガリー 土佐町・本山町 須崎市

・在住ハンガリーカヌーコーチを通じたスポーツ交流

⇒競技力向上・スポーツツーリズムの推進